

平成30年度 いのちの講演会

もしも「死にたい」と言われたら

「なぜ、死にたいと考えるのか」
「自分を傷つける心はどういうことか」
「どのように接したらいいだろうか」
命や心について考えてみませんか。

自傷行為

孤立孤独

病苦

講師

松本俊彦 氏

国立精神・神経医療研究センター
薬物依存症治療センターセンター長
精神科医師

日時

平成31年1月20日 (日)

時間

午後1時30分～3時30分(開場午後1時)

会場

富士宮市総合福祉会館
安藤記念ホール

申込み

平成30年11月27日(火) 午前8時30分から

参加費

無料

主催

富士宮市

申込み方法は裏面へ



松本俊彦 先生

精神科医として薬物依存や自傷行為に苦しむ患者と向き合い、診療や研究に取り組んでいる、この分野の第一人者。患者さんやご家族向けの執筆や講演会も多数行い、地域の精神保健に力を注いでいる。

主著として、「自傷・自殺する子どもたち」(合同出版 2014)「自分を傷つけないにはいられない」(講談社 2015)「もしも『死にたい』と言われたら～自殺リスク評価と対応」(中外医学社 2015)など。

健康増進課(保健センター)にお申込みください。

電話 0544-22-2727 (おかけ間違いに ご注意ください)

電子申請 右側のQRコードから申込みができます。



平成30年 11月27(火) 午前8時30分～申込み開始

定員(300人)になり次第締め切ります。

※窓口・電話は、午前8時30分～午後5時

※駐車場に限りがあります。乗り合わせ、または、公共交通機関のご利用にご協力ください。

窓口申し込み票 (本用紙を保健センター窓口にお持ちください)

所 属・職 業	名 前 (年齢)	連絡先 (電話番号)
	(才)	

申し込み・問い合わせ 健康増進課(保健センター) 電話番号 0544-22-2727